



2022年11月14日

各位

会社名： 株式会社スタメン
(コード：4019 東証グロース)
代表者名： 代表取締役社長執行役員 CEO 加藤 厚史
問合せ先： 取締役副社長執行役員 COO 大西 泰平
(ir@stmn.co.jp)

新体制に関する想定 Q&A について

本日付で開示いたしました「代表取締役の異動および役員の担当業務変更に関するお知らせ」につき、想定される質問事項について、フェアディスクロージャーの観点から、予めQ&Aを作成しましたので、お知らせします。

Q なぜ、株主総会ではなく、今のタイミングで発表するのか。

A 12月決算のスタメンにおいては、戦略や予算策定において1月から12月の期間での計画と実行を重んじています。そのため株主総会のタイミングを待って、第8期の途中から代表の交代やグループ体制への移管を発表するよりも、新体制の構築や来期以降の業績向上に向けてより良い結果をもたらせると考えたため、この第3四半期決算での来期体制の発表となりました。
なお、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）の任期は2023年3月に開催を予定しております定時株主総会の終結の時までであり、その役員候補者については、別途開示を予定しております。

Q 来年の定時総会後も、加藤氏は取締役として株式会社スタメンへの経営関与を考えているのか。

A 現時点で、次回の定時総会以降の取締役候補者について、何ら決定した事項はありません。創業者兼100%子会社の代表取締役として、スタメンのグループとしての企業価値向上に向けて、加藤も引き続き尽力していくことは変わりません。定時総会における役員候補者については、大西を中心とする新経営体制、及び任意の指名・報酬委員会において、諸般の事情を勘案し決定していくこととなります。

Q 株式会社スタメンの今後の事業内容について。

A あくまでスタメングループは中核としてスタメンの行うSaaS事業の確実な成長があつてこそそのものだと考えます。スタメンは今後よりテックカンパニーとしての性格を強めて、TUNAG(ツナグ)を中心とする【人と組織】に関するサービスの拡販をしていきます。また、スタメン内でも、その強みを活かして継続的に新規事業を行っていく予定です。

Q 株式会社スタジアムと株式会社 STAGE について。

A FANTS 事業については、事業領域がオンラインサロンに関するSaaSのみならず、プロスポーツチームや芸能人のコミュニティ構築や運営そのものの受託など領域が広がっております。他方で、顧客の都合上、土日での稼働も多く、働き方のスタメンとの相違があることや、事業個別の意思決定の迅速化や関係会社との協力関係を構築していく観点から株式会社スタジアムを設立し、100%子会社とすることとしました。また、株式会社 STAGE も2年目に入り、ようやく事業の基盤ができてきました。その並列的な立ち位置にあえて、株式会社 QualityStart を設立することで、子会社3社の社長がそれぞれ切磋琢磨しながら、各事業の成長、ひいてはスタメングループの企業価値の向上につなげていきたいと考えております。

Q 株式会社 QualityStart の事業内容や事業ドメインは決まっているのか。

- A 新規事業の創出を事業内容としており、実際に行う事業内容や事業ドメインについてもある程度決まっておりますが、来年以降、子会社を設立し、様々な調査を進めて開示できるタイミングになりましたら、随時説明をしていく予定です。スタメン自体でも新規事業創造を行っていく中でスタメンより時間軸が長い、海外展開を前提とするなど、事業ドメインが離れた領域になることも想定しております。ただ、あくまで検討段階の現時点においては、事業戦略の柔軟性を担保するために、あまり詳細には定義を行っておりません。

以 上